

環境報告書

(2017年4月1日～2018年3月31日)

2017年度

2018年7月2日

東伸環境株式会社

TOSHIN

1. 組織の概要

(1) 事業所名

東伸環境株式会社

(2) 代表者氏名

代表取締役 鈴木 昇

(3) 所在地

宮城県仙台市若林区卸町東五丁目3番16号

(4) 事業内容

- ① 産業廃棄物の収集運搬
- ② 特別管理産業廃棄物の収集運搬
- ③ 下水道施設の清掃

(5) 資本金

10,000,000円

(6) 法人設立年月日

1985年12月14日設立

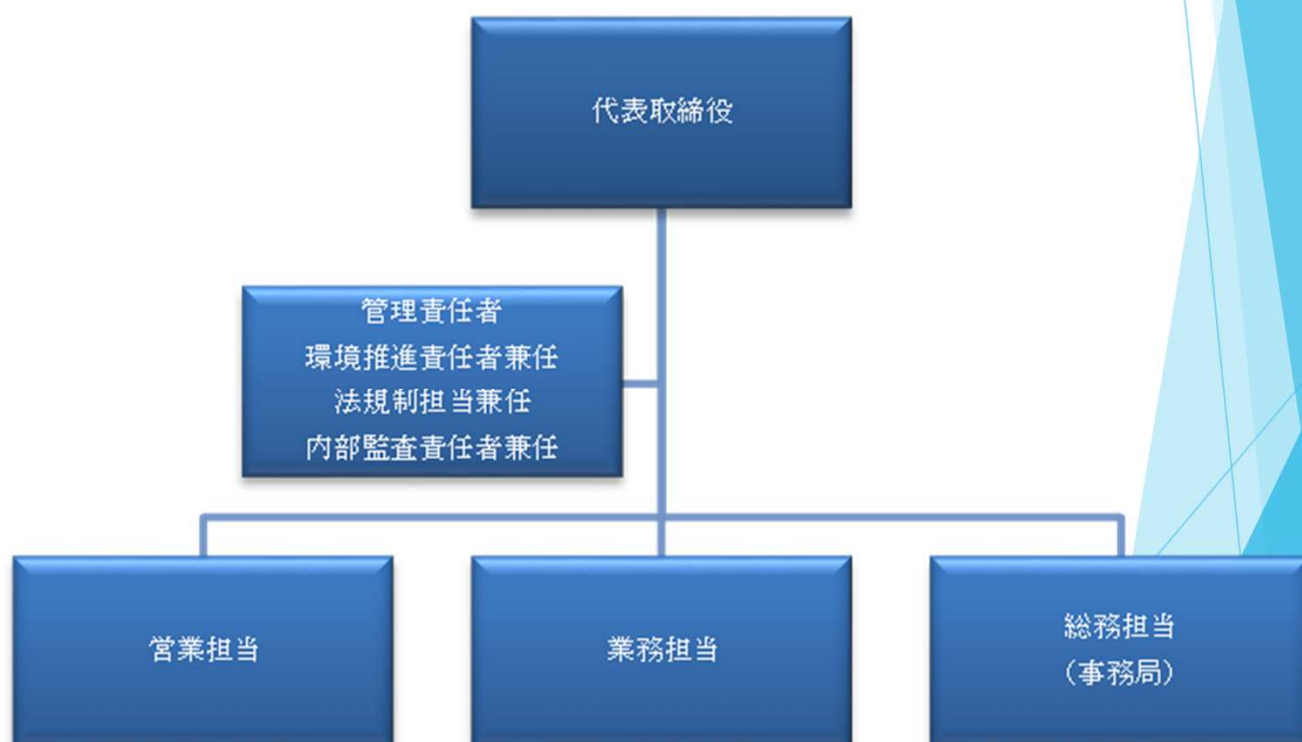
(7) 事業の規模

- ① 売上高： 103,932,395円
(平成29年度実績)
- ② 従業員数： 17名
(内、契約社員13名が関連会社に出向)
- ③ 敷地面積・延床面積
本社・事務所敷地面積： 1492.23m²
延床面積： 30.8m²

(8) 事業計画の概要

弊社は創業以来、ガソリンスタンドの油水分離槽清掃業務、廃油収集運搬業に携わり、環境問題にも積極的に取り組んでおります。お客様にご満足いただけるサービスの提供を目標に、常に、「迅速」かつ「慎重」に安全な対応を心掛けるとともに、環境に配慮した地域社会の創造に貢献してまいります。技術資格者も多く在職し、確かな技術と安心をご提供いたします。収集運搬業務は、排出事業者の依頼を受け、廃棄物を指定された中間処理施設やリサイクル施設、最終処分場等に搬入します。「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び各種環境関連法に則り、事業を展開します。

(9) 環境活動の取り組み体制



管理責任者：松尾 篤史

担当者連絡先：090-4314-9249

(TEL：022-390-4051 FAX：022-390-4070)

2018年3月31日現在8名

(10) 許認可・取扱い産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物

産業廃棄物収集運搬業			許 可 品 目																項目								
No	都道府県 政令市	許可番号	許可年月日 及び 有効期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	ガラスくず、コンクリートくずおよび陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	動物系固形不要物	動物の糞尿	動物の死体	13号廃棄物 (自動車等破砕物)	(石綿含有産業廃棄物)	(水銀使用製品産業廃棄物)	(水銀含有ばいじん等)	
①	宮城県	00400033699	平成28年2月4日 平成33年2月3日	●	●	●	●	●	●			●															6
②	福島県	第00707033699	平成25年6月20日 平成30年6月19日		●	●			●			●															4
③	岩手県	00300033699	平成26年5月13日 平成31年5月12日		●	●	●	●	●			●															6
④	山形県	第0609033699	平成26年4月9日 平成31年4月8日		●	●	●	●	●			●															6
⑤	秋田県	00501033699	平成29年5月29日 平成34年5月28日		●	●	●	●	●			●															6
⑥	青森県	00201033699	平成28年10月19日 平成33年10月18日		●	●	●	●	●			●															6

特別管理産業廃棄物収集運搬業			許 可 品 目																項目
No	都道府県 政令市	許可番号	許可年月日 及び 有効期限	廃油	廃酸	廃アルカリ	鉱さい	ばいじん	燃え殻	汚泥	指定下水道汚泥	処理物	感染性産業廃棄物	廃PCB等	PCB汚染物等	PCB処理物等	廃石綿等	廃水銀等	
①	宮城県	0450033699	平成26年4月8日 平成31年4月7日	●	●	●													3
②	福島県	第00757033699	平成26年5月7日 平成31年5月6日	●															1
③	岩手県	00350033699	平成26年5月13日 平成31年5月12日	●	●	●													3
④	山形県	第0659033699	平成26年4月9日 平成31年4月8日	●	●	●													3
⑤	秋田県	00551033699	平成29年5月29日 平成34年5月28日	●	●	●													3
⑥	青森県	00251033699	平成28年10月19日 平成33年10月18日	●	●	●													3

※特定有害を含まず

(11) 保有車両（種類及び台数）

車輛の種類	台数
清掃車	2台
キャブオーバ	1台

※2018年3月31日現在

(12) 収集運搬実績（平成28年度）

産業廃棄物収集運搬実績（平成28年度）上半期（運搬車）

（単位：t）

種類	品目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
産業廃棄物	汚泥	運搬量	249,700	237,480	213,880	268,340	299,930	218,740	1488,070
		受入量	249,700	237,480	213,880	268,340	299,930	218,740	1488,070
	廃油	運搬量	20,060	2,832	13,439	4,333	8,592	11,089	60,345
		受入量	20,060	2,832	13,439	4,333	8,592	11,089	60,345
	廃酸	運搬量	0,410	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,410
		受入量	0,410	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,410
	廃アルカリ	運搬量	1,750	1,440	2,790	3,100	4,330	3,340	16,750
		受入量	1,750	1,440	2,790	3,100	4,330	3,340	16,750
	廃プラスチック類	運搬量	0,770	0,172	1,809	0,423	0,432	0,279	3,885
		受入量	0,770	0,172	1,809	0,423	0,432	0,279	3,885
	金属くず	運搬量	1,040	0,496	0,382	0,744	0,496	0,522	3,680
		受入量	1,040	0,496	0,382	0,744	0,496	0,522	3,680
特別管理産業廃棄物	引火性廃油	運搬量	0,150	0,000	0,290	0,000	0,110	5,480	6,030
		受入量	0,150	0,000	0,290	0,000	0,110	5,480	6,030
	強酸	運搬量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
		受入量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
	強アルカリ	運搬量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
		受入量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000

産業廃棄物収集運搬実績（平成28年度）下半期（運搬車）

（単位：t）

種類	品目		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
産業廃棄物	汚泥	運搬量	311,360	249,930	339,730	238,780	290,210	356,070	1786,080
		受入量	311,360	249,930	339,730	238,780	290,210	356,070	1786,080
	廃油	運搬量	9,671	6,008	3,508	5,814	11,623	11,123	47,747
		受入量	9,671	6,008	3,508	5,814	11,623	11,123	47,747
	廃酸	運搬量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
		受入量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
	廃アルカリ	運搬量	7,230	4,770	1,040	10,200	2,940	4,750	30,930
		受入量	7,230	4,770	1,040	10,200	2,940	4,750	30,930
	廃プラスチック類	運搬量	1,211	0,454	0,423	0,744	0,233	0,193	3,258
		受入量	1,211	0,454	0,423	0,744	0,233	0,193	3,258
	金属くず	運搬量	0,278	1,712	1,199	1,182	0,734	1,034	6,139
		受入量	0,278	1,712	1,199	1,182	0,734	1,034	6,139
特別管理産業廃棄物	引火性廃油	運搬量	0,310	4,840	0,000	4,940	0,080	5,300	15,470
		受入量	0,310	4,840	0,000	4,940	0,080	5,300	15,470
	強酸	運搬量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
		受入量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
	強アルカリ	運搬量	0,400	0,000	0,000	0,400	0,000	0,400	1,200
		受入量	0,400	0,000	0,000	0,400	0,000	0,400	1,200

(12) 収集運搬実績（平成29年度）

産業廃棄物収集運搬実績（平成29年度）上半期（運搬車）

（単位：t）

種類	品目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	
産業廃棄物	汚泥	運搬量	249,270	238,700	261,150	263,110	296,870	254,520	1563,620	
		受入量	249,270	238,700	261,150	263,110	296,870	254,520	1563,620	
	廃油	運搬量	7,091	11,371	5,622	7,541	12,147	6,872	50,644	
		受入量	7,091	11,371	5,622	7,541	12,147	6,872	50,644	
	廃酸	運搬量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	
		受入量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	
	廃アルカリ	運搬量	2,770	10,940	2,060	6,740	4,710	5,570	32,790	
		受入量	2,770	10,940	2,060	6,740	4,710	5,570	32,790	
	廃プラスチック類	運搬量	1,161	1,831	1,012	0,491	0,437	1,092	6,024	
		受入量	1,161	1,831	1,012	0,491	0,437	1,092	6,024	
	金属くず	運搬量	0,748	1,368	1,134	0,708	0,696	0,496	5,150	
		受入量	0,748	1,368	1,134	0,708	0,696	0,496	5,150	
	特別管理産業廃棄物	引火性廃油	運搬量	0,100	5,850	0,280	3,960	0,000	4,710	14,900
			受入量	0,100	5,850	0,280	3,960	0,000	4,710	14,900
		強酸	運搬量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
			受入量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
		強アルカリ	運搬量	0,000	0,200	0,000	0,200	0,200	0,000	0,600
			受入量	0,000	0,200	0,000	0,200	0,200	0,000	0,600

産業廃棄物収集運搬実績（平成29年度）下半期（運搬車）

（単位：t）

種類	品目		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
産業廃棄物	汚泥	運搬量	241,880	239,050	356,990	270,370	301,780	278,150	1688,220	
		受入量	241,880	239,050	356,990	270,370	301,780	278,150	1688,220	
	廃油	運搬量	5,172	2,077	7,637	17,903	6,816	12,612	52,217	
		受入量	5,172	2,077	7,637	17,903	6,816	12,612	52,217	
	廃酸	運搬量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	
		受入量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	
	廃アルカリ	運搬量	2,750	2,260	5,700	9,640	0,930	3,379	24,659	
		受入量	2,750	2,260	5,700	9,640	0,930	3,379	24,659	
	廃プラスチック類	運搬量	0,412	0,417	0,257	0,273	1,116	0,773	3,248	
		受入量	0,412	0,417	0,257	0,273	1,116	0,773	3,248	
	金属くず	運搬量	1,006	0,486	0,816	0,854	0,408	0,524	4,094	
		受入量	1,006	0,486	0,816	0,854	0,408	0,524	4,094	
	特別管理産業廃棄物	引火性廃油	運搬量	0,000	4,820	0,210	5,490	0,390	4,550	15,460
			受入量	0,000	4,820	0,210	5,490	0,390	4,550	15,460
		強酸	運搬量	0,120	0,000	0,000	0,000	0,060	0,000	0,180
			受入量	0,120	0,000	0,000	0,000	0,060	0,000	0,180
		強アルカリ	運搬量	0,000	0,200	0,000	0,400	0,000	0,200	0,800
			受入量	0,000	0,200	0,000	0,400	0,000	0,200	0,800

2. 登録対象

(1) 登録内容

みちのくEMS

優良産廃処理業者用 取得予定

※2018年12月認証取得予定

(2) 登録範囲

産業廃棄物、特別産業廃棄物の収集運搬及び
下水道施設の清掃

(3) 対象事業所

事務所：宮城県仙台市若林区卸町東五丁目3番16号

3. 環境方針

東伸環境株式会社 環境方針

1. 東伸環境株式会社は、産業廃棄物収集運搬業に係る全ての事業活動の提供を通じて、社会に対して環境保全の取り組みを積極的に展開する。
2. 当社の活動において発生する環境に及ぼす影響を常に認識し、以下の項目に取り組み、汚染の予防ならびに継続的改善に努める。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物排出量の削減
 - (3) 水の使用量の削減
 - (4) グリーン調達の推進
3. 環境方針の達成のため環境目的と目標を定め、一致協力してその達成に努める。目的と目標は定期的に見直す。
4. 環境側面に関する法規制、及びその他の要求事項を順守する。
5. この環境方針は、当社社員及び当社に係る全員に周知するとともに、一般にも開示する。

平成30年4月1日

東伸環境株式会社

代表取締役 鈴木 昇

4. 環境目的・環境目標

2018年度以降の環境目的・環境目標

環境目的		2017年度 (基準値)	2018年度 目標値	2019年度 目標値	2020年度 目標値
二酸化炭素 排出量の削減 2017年実績 -0.1%	電力使用量 2017年実績 -0.1%	12563 kgCO ₂ /年 23051 kWh/年	12550 kgCO ₂ /年 23028 kWh/年	12538 kgCO ₂ /年 23005 kWh/年	12525 kgCO ₂ /年 22982 kWh/年
	軽油使用量 2017年実績 -0.1%	67046 kgCO ₂ /年 25548 ㍲/年	66979 kgCO ₂ /年 25522 ㍲/年	66912 kgCO ₂ /年 25497 ㍲/年	66845 kgCO ₂ /年 25471 ㍲/年
	ガス使用量 2017年実績 -0.1%	32.268 kgCO ₂ /年 10.647kg/年	32.236 kgCO ₂ /年 10.636kg/年	32.203 kgCO ₂ /年 10.626kg/年	32.171 kgCO ₂ /年 10.615kg/年
一般廃棄物排出量の削減 2017年実績 使用袋 -1枚		150枚/年	-1枚 149枚/年	-2枚 148枚/年	-3枚 147枚/年
水の使用量の削減 2017年実績 使用量 -1.0m ³		339m ³ /年	-1.0m ³ 338m ³ /年	-2.0m ³ 337m ³ /年	-3.0m ³ 336m ³ /年
グリーン購入の推進 2017年実績 購入品目 +1品		2品目/年	+1品目 3品目/年	+2品目 4品目/年	+3品目 5品目/年
燃費の向上 2017年実績 燃費 +0.1km/㍲		4.153km/㍲	+0.1km/㍲ 4.253km/㍲	+0.2km/㍲ 4.353km/㍲	+0.3km/㍲ 4.453km/㍲

CO₂排出係数：東北電力（2017年実績）0.545kg-CO₂/kWh

5. 環境目的・環境目標と実績 (環境マネジメントプログラム)

2017年度環境活動実績

環境目的		具体的方策	目標値	実績値	評価
二酸化炭素 排出量の削減 2017年実績 把握	電力使用量 2017年実績 把握	<ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の 適正管理 ・休憩時間の 消灯確認 ・具体的方策の検討 	今年度は、初年 度のため、数字 把握とした	12563 kgCO ² /年 23051 kWh/年	次年 度の 数値 把握 が 出来 た
	軽油使用量 2017年実績 把握	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングス トップの推進 ・具体的方策の検討 	今年度は、初年 度のため、数字 把握とした	67046 kgCO ² /年 25548 ^ℓ /年	次年 度の 数値 把握 が 出来 た
	ガス使用量 2017年実績 把握	<ul style="list-style-type: none"> ・お湯使用の制限 ・具体的方策の検討 	今年度は、初年 度のため、数字 把握とした	32.268 kgCO ² /年 10.647kg/年	次年 度の 数値 把握 が 出来 た
一般廃棄物排出量の削減 2017年実績把握		<ul style="list-style-type: none"> ・用紙再利用の徹底 (裏紙使用) ・紙ゴミ分類・売却 ・具体的方策の検討 	今年度は、初年 度のため、数字 把握とした	150枚/年	次年 度の 数値 把握 が 出来 た
水の使用量の削減 2017年実績把握		<ul style="list-style-type: none"> ・節水教育(生活水 での節水ゴマ活用等 垂れ流しを防ぐ具体 的方策の検討) 	今年度は、初年 度のため、数字 把握とした	339m ³ /年	次年 度の 数値 把握 が 出来 た
グリーン購入の推進 2017年実績把握		<ul style="list-style-type: none"> ・事務用品購入時リ サイクル品を選ぶ等 具体的方策の検討 	今年度は、初年 度のため、数字 把握とした	2品目/年	次年 度の 数値 把握 が 出来 た
燃費の向上 2017年実績把握		<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングス トップの推進 ・具体的方策の検討 	今年度は、初年 度のため、数字 把握とした	4.153km/ℓ	次年 度の 数値 把握 が 出来 た

評価記号A：良好(100%以上) B：やや不足(90~100%) C：不適合(90%以下)

5.1 具体的環境活動の評価

- ☆電力使用量の削減では、照明や空調設備について部屋ごとに消灯や運転温度の基準を作ることを検討し、消費電力の把握のために毎月数量のチェックをした。
- ☆軽油使用量の削減では、アイドリングストップの推進やドライブレコーダーの設置によりデータを蓄積、エコドライブの推奨をし、急ブレーキ、急ハンドル等が見受けられた場合については、その原因等をドライバーから聞き、安全と環境に配慮する教育等の具体的な方策の検討をした。使用量の把握のために毎月数量のチェックをした。
- ☆ガス使用量の削減では、給湯器の使用はできるだけ避け、使用量の削減を目指すための方法を検討した。使用量の把握のために毎月数量のチェックをした。
- ☆一般廃棄物排出量の削減では、紙ゴミ・シュレッター等の分別や売却等の、廃棄物の抑制方法を検討した。排出量の把握のため、使用したゴミ袋枚数のチェックをした。
- ☆水の使用量の削減については、各自節水を心がけるような社員教育の方法の検討し、使用量把握のために数量のチェックをした。
- ☆グリーン購入の推進では、購入製品のリスト化を検討し、購入実績把握のために、購入品の洗い出しを行った。
- ☆燃費の向上では、軽油使用量の削減と同様の活動により検討し、各車両の走行距離数や軽油使用量の数量把握をして燃費を数値化した。

来期以降、これら把握をした数値を基準とし、環境配慮を念頭に置いた活動を随時行って行く。

5.2 2017年度活動についての今後の課題

電力、軽油、ガス、一般廃棄物、水の使用量及び発生量の削減では数量の把握後、それぞれ削減目標や具体的方策を設け、削減目標を達成するために徹底した管理を行っていくことになるが、管理する人員が限られているため、役割の集中を防ぐべく各担当割り振りを考えていく必要がある。

また、注意喚起や環境教育といった取り組みについては、具体的な方策を設けた後も継続して行っていき、社員個々の意識改革やレベルアップを図りたい。

尚、来年度は今年度数値把握をした以外に取り組めるものがあるかどうかについて、次の年のテーマ設定のための予備調査項目をサブテーマとして掲げることを検討している。次年度テーマとしては極力本業に係わる内容のものを取り上げていくことを検討する。

6. 環境関連法規の順守状況

今年度は当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等について、該当する部分の調査・確認を行い、それら該当部分の評価表作成を行った。関係機関等からの違反の指摘・苦情・訴訟等はなかった。

7. 内部監査・外部監査の報告

7.1 内部監査

①実施日：2018年9月6日実施予定

②範囲：本社 業務担当（現場含む）

③チーム編成：内部監査員2名（親会社社員実施予定）

※ISO14001内部監査員養成講座修了

7.2 外部審査（みちのくEMS）

①実施日：2018年9月22日（実施予定）

8. 最高責任者による

全体の評価見直しの結果

8.1 全体評価

今年度は、2018年12月に予定しているみちのくMES認証取得に向けた取り組みの一環として、基礎情報の取得等の取り組みを行ったので、それら情報を元にシステムの構築を図り、環境負荷低減に向けて推進すること。

8.2 見直し評価

環境方針は今後の事業・環境活動の動向により考案し、動向によって変更の必要性についても継続するため、事業及び環境関連等の情報収集に努めること。

9. コミュニケーション

宮城県産業廃棄物協会仙台支部開催する研修会（災害時緊急応援計画策定への協力：仙台市、建設業協会仙台支部、解体業協会、産廃協会仙台支部の4者協定）に参加した。

（平成30年2月6日開催）

以上